

進んでやりぬく中央の子

中央小学校だよりNo.4

令和6年7月1日

校長 吉田 英太郎

これからの生活につながる宿泊研修に

6月6日(木)、7日(金)、5年生が宿泊研修で各務原市少年自然の家に行きました。犬山フィールドワークでは、クイズに答えながら犬山城周辺を往復し、ファイブゲームでは、5種類のゲームにグループで挑戦しました。翌日の野外炊事では、食材に「協力のスパイス」が加わり、おいしいカレーライスが完成し、最後の奉仕作業では、所員の方が深々とお礼を伝えてくださいました。

「当たり前のことは当たり前ではなく、多くの方が支えてくださっているんだよ。だから、感謝するんだよ。」学年主任の心のこもった話に、子どもたちはじっくりと耳を傾けていました。

宿泊研修のスローガン「みんなと考え、協力して活動し、今後の生活につながる宿泊研修にしよう」が、仲間の協力で達成し、5年生は次の取組へしっかりとバトンが繋がられています。

プール授業始まる

6月19日(水)にプール開きが行われ、コパンスポーツクラブ各務原の方を講師にお招きしてプール授業が始まりました。18日(火)に雨でプール開きができなかった3つの学年は、28日(金)も雨で延期となり、4日(木)にプール講習会として行う予定です。体育科の授業は、運動領域と保健領域からなり、保健領域は3年生から始まります。水泳運動系は運動領域の中であり、1・2年生では水遊び、3年生から水泳運動となります。もぐる・浮く運動や浮いて進む運動、高学年ではクロールや平泳ぎ、安全確保につながる運動で構成されています。それぞれの学年で、子どもたちの挑戦が続いています。

水泳運動系は生命の危険と常に隣り合わせですので、プールの環境整備と複数職員による指導体制を確実に行っていきます。プール授業は大変ですが、子どもたちの水に親しむ楽しそうな笑顔や、次の目標に挑戦しようと努力する姿が見られるのは、本当にうれしいものです。

教室はまちがうところだ

6月4日(火)の全校朝会で、蒔田晋治(まきたしんじ)作「教室はまちがうところだ」という絵本を紹介しました。中央小学校では、特に算数の授業において、子どもたちが自らの考えをもち、「聞きたい」・「伝えたい」を出し合って仲間と学ぶことを目指して取り組んでいます。間違っただけで平気、間違えたら仲間が教えてくれる、仲間が直してくれる。そんな光景が授業で見られるよう、朝の会や帰りの会の「よいこと見つけ」や人権教育の「あさがお思いやり言葉宣言」など、授業以外の取り組みとつないで取り組んでいます。

夏休みを前に

授業日であと13日すると、夏季休業日(夏休み)がやってきます。学校生活中心の毎日から家庭生活のみの毎日へ移行します。学校生活で作られた生活のリズムは、重要な体調管理や時間管理となります。39日間、楽しい思い出とともに、大切にしてほしいと考えています。

なお、これまで体育館で行ってまいりました「夏休み宝物展」は、厳しい残暑によって会場設営や開催等が困難なため、今年度から取り止めさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、学級内での夏休み宝物発表会と展示は、従来通り行います。